

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 10 日

評価対象事業		評価者	道路課長 吉本 敏明	
都整-16	道路新設改良事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	道路課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。
効果	交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 道路舗装修繕計画の改定を行った。 道路新設改良工事について、入札不調により翌年度に繰越した。

事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	道路新設改良工事等	道路舗装修繕計画策 定業務委託	道路舗装修繕計画に 伴う修繕実施延長(k m)	0 /	3.6	4.6	0.0%
				2,730 /	62,216	149,960	
02				/			
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源 内訳	国県支出金	/	21,050	54,200	
			地方債	/	35,400	76,200	
			その他特定財源	/			
			一般財源	2,730 /	5,766	19,560	
			事業費の合計(千円)		2,730 /	62,216	149,960
		人件費(千円)			7,356	12,210	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.7	1.5	0.9	1.5		
会計年度任用職員	0.0	0.2	0.4	0.4		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	道路新設改良工事等	第4期基本計画においては、舗装修繕計画に伴う修繕の累積進捗率を成果指標としていたため、整合を図り、年度ごとの修繕の延長を指標とした。 なお、入札不調により当該年度に工事実施できなかったため、目標未達となった。	道路舗装修繕計画に伴う計画的な修繕を実施することにより、道路の安全性と快適性が保たれ、強靱化が図れる。	これまで、国の交付金活用の観点などから幹線道路の修繕を優先的に実施してきており、生活道路の修繕が進んでいない。このため、今後既計画で抽出され取り残された生活道路及び要望やパトロールによる修繕箇所を整理し、道路維持補修事業として実施していく。
02	0			
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
		△-2 市民等と協働して実施する事業はない

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・変更 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>舗装修繕の要望は、市民から多数寄せられているため、予算規模拡充や人員を増員して対応を図る必要がある。</p> <p>道路課事業のほか他課の事業(委任等)に職員2名分の人員を要している。</p>	

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	道路舗装修繕計画に基づく修繕実施延長						単位	km
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
第4期基本計画においては、舗装修繕計画に伴う修繕の累積進捗率を成果指標としていたため、整合を図り、年度ごとの修繕の延長を指標とした。	目標値	3.1	3.9	3.6	4.6	-	-	
	実績値	0.5	1.2	0				
	達成率	16.1%	30.8%	0.0%				

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--